



週刊はばたき

2021年
4月21日
第2号

やさしく つよく あたらしく

佐渡市立新穂中学校 電話：0259-22-2067 メール：niibo-js@sado.ed.jp

皆さんのキラリと成長が Energy

◇今週は、ほとんどの授業が学活でした。

この学活の時間の中で、主に以下の2点を決めました。

- 1 学級の組織づくり
- 2 学級のルールづくり

1の組織は、大きく次の3つの柱から成り立ちます。

- (1) 学級を維持するために、毎日定期的にくり返される仕事で、一定の人数が必要なもの。(清掃当番や給食当番など)
- (2) 定期・不定期にかかわらずくり返される行動で、少人数でよいもの。(集配係、連絡係など)
- (3) 学級生活を豊かにするために必要な組織。(レクリエーションの企画や行事を盛り上げる企画など)

昨年の入学式の日、皆さんに「gift (ギフト)」という言葉を送りました。「贈り物、与えること」という意味に加えて、「才能、天から授かったもの」という意味もある言葉です。1年間皆さんと一緒に生活して、一人一人がそれぞれの才能をもち、さらに伸ばそうと頑張る姿がたくさん見られました。そして、一人一人の才能の違いを合わせて、皆とだからできる感動や充実感を得ることができたのではないのでしょうか。その経験がすてきなgift (贈り物)として皆さんに届いてほしいなと思います。

8日(木)に学級目標を決定しました。クラスミーティングを通して、たくさんのすばらしいアイデアが出されました。その中から選ばれた物は『「」』というなんとも斬新なものでした。考案した土屋裕史さんは

① 「」が示すように、一度頭を空っぽにして新しいことに挑戦し続けてほしい。

② 「」の空白から、余計な先入観をもたずにいろいろなことを見つめ直してほしい。

という思いを込めて『「」』を提案しました。私はあえてそこに付け加えるとしたら、

③ 「」の空欄の中に、自分の思いや考えを込めて、表現してほしい。

ということを加えたいと思います。まさにそれを表したワンシーンがありました。クラスミーティングの途中、なかなか意見が出ず、クラス全体がしんと静まりかえる瞬間がありました。まさに「」という表現がぴったりでした。すると、その沈黙を野口心晴さんが破り、そこから議論が進むというルー

左は、上から1年生、2年生、3年生の学年だよりの一部です。私も毎週読ませてもらっています。「〇〇さん、頑張ったなあ」、「〇〇さんの考えはすばらしいなあ」など、皆さんのキラリと光る活躍や、「〇〇先生の個性が滲み出ているなあ」、「いろいろあるけど、やっぱり学校っていいなあ」と教師冥利に尽きるエピソードなどが載っていて、読んでいる内に心が元気になってきます。

将来就きたい職業に、学校の先生が上位にあったのは昔の話。「先生の仕事はブラック」というイメージが広がり、先生になりたい人が年々減っているそうです。そんな背景もあり、先生の働き方を改革して、教職を目指す若者を増やす取組が進んでいます。

学校にはおたよりが付き物です。私が今までお世話になった中学校で、全学年がおたよりを毎週発行している学校は、新穂中学校が初めてです。実は、おたよりの発行も働き方改革の一つに挙がっています。「それでも新穂中の先生方がおたよりに書くのはなぜ？」と聞かれたら、「生徒の皆さん一人一人の魅力と活躍が、おたよりに出さうという意欲をかき立てているのかもしれない」と、答えたいです。これからも、たくさんのキラリと活躍を楽しみにしています。

※22日(木)18:30 P T A合同役員会。役員の皆様ありがとうございます。

毎日の授業・家庭学習・振り返りが大切！ 敗者復活戦がある！

単元テストが始まっています。単元テストについて、数学を例に再確認しましょう。

【授業進度とテストの関係】

- ・ 昨年まで 正負の数 → 文字式 → 定期テスト
- ・ 今年から 正負の数→単元テスト①→文字式→単元テスト②→定期テスト

単元とは学習内容のまとめりです。教科書の目次を見ると分かりやすいです。単元テストは、学習内容の区切りごとに行うテストです。上の表の単元テスト①では、正負の数の学習内容をどれくらい習得したかを測定します。単元テスト②では、文字式の学習内容の習得度を測定します。定期テストの出題範囲は、正負の数と文字式で昨年までと同じです。

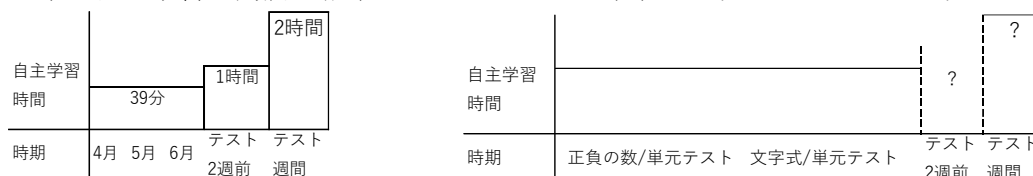
【テストと成績の関係】

- ・ 昨年まで 定期テスト
- ・ 今年から 単元テスト①+単元テスト②+定期テスト

今年から単元テストの結果が加わります。昨年までは、定期テストのみの一回勝負でしたが、今年からは勝負の回数が増えたこととなります。単元テストの結果を振り返り、定期テストまでに改善することもできます。テストの点数だけで成績の算定は行いませんが、その関係は密接です。

【自主学習(家庭学習)の時間と単元テスト・定期テストの関係】

- ・ 昨年の自主学習時間調査結果 →→→
- ・ 今年はどうしたらいいだろう？…



昨年の自主学習時間の全校平均は、ふだんが39分、定期テスト2週間前が1時間、定期テスト週間が2時間でした。単元テストは、学習内容の区切りで実施するので、教科ごとに実施日が違います。ふだんの自主学習時間の改善が必要ですね。また、単元テストの結果をしっかり振り返り、つまづきを早めに手当しておけば、定期テストでは更に良い結果が期待できそうです。

【通知表の観点】

- ・ 昨年までは 4観点(国語は5)と5段階評定
- ・ 今年からは 3観点と5段階評定

「学びを調整する力」が重視されます。これは、自分の学習状況を分析し、学習方法や自主学習を工夫する力などをいいます。例えば、美しいだけのノート、漢字や英単語の繰り返し、答えを丸写しにしたワークを出すような「見せかけの学習」ではなく、成果に反映させるための工夫が求められます。振り返りやレポートなどの提出物では、記述の内容や質が大切です。